



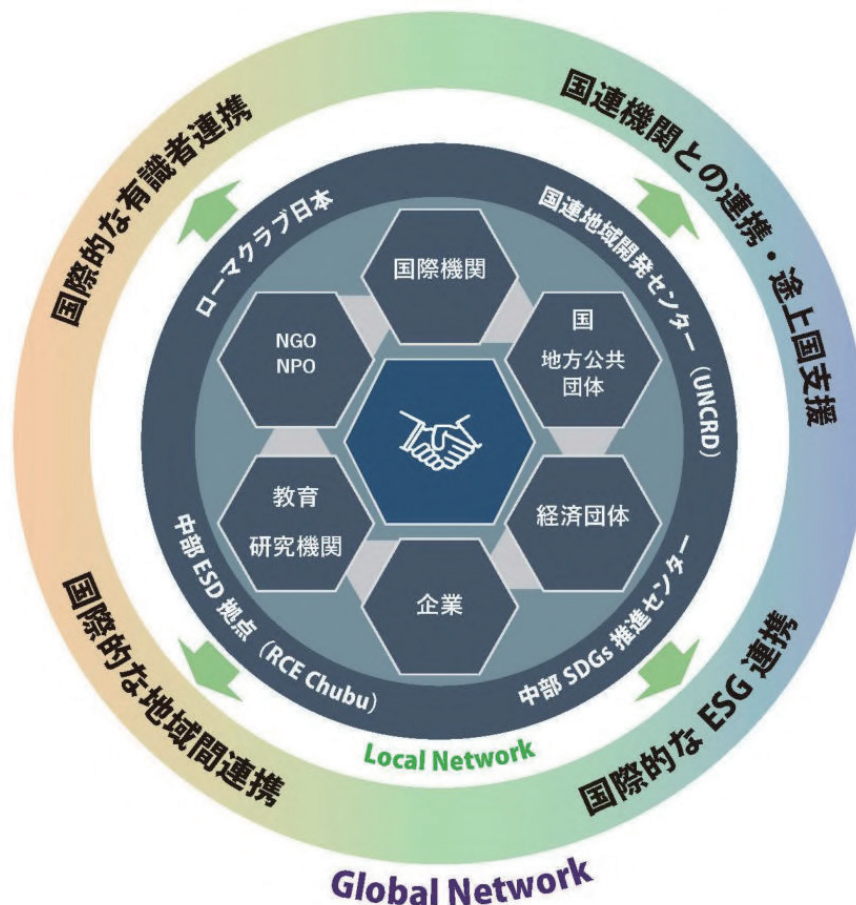
中部圏 SDGs 広域プラットフォーム

Central Japan SDGs Platform (CJSP)

中部圏 SDGs 広域プラットフォームの地域・国際連携

中部圏 SDGs 広域プラットフォームは、グローバルとローカルをつなぎ、
産官学民の連携により中部圏における SDGs 達成に向けた取組みを支援します。

中部圏 SDGs 広域プラットフォームがめざす国際・地域貢献のイメージ



中部圏 SDGs 広域プラットフォーム ロゴマーク

当プラットフォームの運営会員、正会員、特別会員は事務局に申請の上、本ロゴマークをご使用いただけます。
※商業目的・資金調達目的ではご使用になれません。



Central Japan SDGs Platform
中部圏 SDGs 広域プラットフォーム

会長ごあいさつ



中部圏 SDGs 広域プラットフォームは、中部圏ひいてはわが国における SDGs 達成に向けた取組を支援するとともに、世界各国とりわけ開発途上国における課題解決の支援などの国際貢献を行うことを目的に 2020 年 12 月に設立されました。

中部圏には、「国際連合地域開発センター（UNCRD）」をはじめ、企業を支援する「一般社団法人中部 SDGs 推進センター」、人材育成を目的とした「中部 ESD 拠点」、「ローマクラブ日本」など、持続可能な社会づくりに関連する諸活動に先駆的に取り組んでいる団体や国際的なネットワークが多数存在します。その知見やリソースを活用するとともに、全てを結集し更なる推進を図るために、飯吉厚夫初代会長のもと当プラットフォームは設立されたものです。

SDGs は、LNOB (Leave No one behind) 「だれ一人取り残さない、最も遅れたところに第一に手をさしのべる」という理念のもと 17 のゴールを掲げて、サステナビリティ（持続可能性）の実現のため、地球規模の課題解決をめざすグローバルな取り組みです。この理念に近づくには、まず地域社会ごとに進展を図る必要があります。「パートナーシップで目標を達成しよう（ゴール 17）」にあるように、地域社会の産官学民のすべてのステークホルダーが、それぞれの強みを生かして協働することが不可欠です。そして自然、社会、経済が複雑に絡みあう課題に対応し、自然再興と炭素中立さらには循環経済の調和のとれた持続可能な発展を実現するには、専門分化を超えた包括的な思考のもと、社会を変革せねばなりません。

2030 年に向け、SDGs もいよいよ折り返し地点に到達しました。SDGs ウォッシュでなく実体をともなった行動、ポスト SDGs を見据えた取り組みが求められます。これからは、より具体的に進捗や活動成果を可視化し、取り組みが遅れている分野については、ますます行政・企業・教育研究機関等が連携して対応していくことが重要です。当プラットフォームでは、地域に根差した取り組みを、産官学民の協働によって中部全体の SDGs 活動に発展させ、さらには SDGs のグッドプラクティスとして国際社会に貢献できるよう積極的な取り組みと情報発信を進めてまいります。引き続き、皆様のご参加とご協力を賜りますようお願いいたします。

中部圏 SDGs 広域プラットフォーム 会長
福井 弘道

役員紹介



会長

福井 弘道

(国連大学認定 RCE)
中部 ESD 拠点代表
中部大学副学長



副会長

遠藤 和重

国際連合地域開発センター
(UNCRD) 所長



副会長

林 良嗣

ローマクラブ日本代表



副会長

戸成 司朗

一般社団法人中部 SDGs
推進センター代表理事

設立趣意



設立の背景

中部圏は社会経済の発展に伴い、環境保護、社会基盤整備及び国際的ネットワークについての有形無形の資産を形成するとともに、現代的な課題解決を行うことにより、様々な知見やノウハウを獲得し積み上げてきました。SDGs 達成に向け、これらの経験を活用する仕掛けとして、持続可能な社会づくりに関連する諸活動に先駆的に取り組んでいる団体が結集し、更なる推進を図るために、当プラットフォームの設立に至りました。

設立の目的

中部圏※ひいては我が国における SDGs 達成に向けた組織及び団体の取組や連携を支援するとともに、世界各国とりわけ開発途上国における課題解決の支援などの国際貢献を行うことを目的としています。

中部圏：富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県

設立年月日

2020 年 12 月 1 日

会 員（2024 年 4 月 1 日時点、敬称略、団体会員のみ記載）

〔運営会員〕

中部ESD拠点協議会、国際連合地域開発センター（UNCRD）、ローマクラブ日本、一般社団法人中部 SDGs 推進センター、清水建設株式会社名古屋支店、学校法人中部大学、加山興業株式会社、株式会社グローバルキャスト、株式会社コメ兵ホールディングス、株式会社十六フィナンシャルグループ、株式会社新東通信、中部日本放送株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、TOPPAN 株式会社、リコージャパン株式会社、学校法人愛知学院、ESRI ジャパン株式会社、鯨バス株式会社、大日本ダイヤコンサルタント株式会社

〔特別会員〕

国土交通省中部地方整備局、環境省中部地方環境事務所、独立行政法人国際協力機構 中部センター、富山県、高岡市、南砺市、福井県、鯖江市、長野県、長野市、岐阜県、岐阜市、高山市、恵那市、美濃加茂市、浜松市、富士宮市、掛川市、愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市、安城市、蒲郡市、小牧市、知立市、尾張旭市、日進市、みよし市、三重県、桑名市、いなべ市、志摩市、滋賀県、なごや環境大学実行委員会、一般社団法人中部経済連合会、名古屋商工会議所、春日井商工会議所

〔正会員〕

株式会社大垣共立銀行、エヌビーエス株式会社、岡谷鋼機株式会社、リンナイ株式会社、ウネベ建設株式会社、オーエスジー株式会社、材惣木材株式会社、株式会社サーラコーポレーション、株式会社百五銀行、PwC あらた有限責任監査法人、ヤマザキマザック株式会社

発起団体紹介

国連地域開発センター (UNCRD)



国連地域開発センター本部がある名古屋国際センタービル

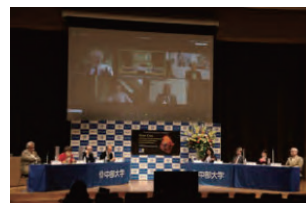
世界のSDGsネットワークと連携

国連地域開発センターは、国連でSDGsを所管する国連経済社会局 (UN DESA) に属するプロジェクトオフィスです。
中部圏SDGs広域プラットフォームでは、国連本部をはじめとする国際機関と中部地域のSDGsに関する情報交流を促進します。

国連地域開発センターのSDGs活動例:

- SDGs経営とモニタリング・情報発信
- ローカルSDGs国際シンポジウムの開催

ローマクラブ日本



中部大学創立記念の国際シンポジウムをローマクラブとの連携により開催 (2020)

SD議論のきっかけとなった『成長の限界』(1972)

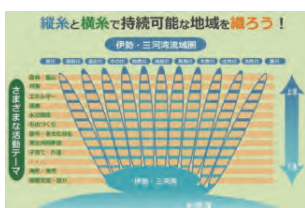
国際的な有識者ネットワーク

ローマクラブは、スイスに本部を置く民間のシンクタンク。1972年に発表された第1回報告書『成長の限界』は、持続可能な開発 (SD) 概念の基礎を築く問題提起となりました。
中部圏SDGs広域プラットフォームでは、持続可能な開発に関する国際シンクタンクの最新情報を提供することで中部地域のSDGs推進に貢献します。

ローマクラブ日本のSDGs活動例:

- 国際シンポジウム開催

中部ESD拠点 (RCE Chubu)



地域課題を包括的に知り、学び、解決策を導き出す



SDGsの担い手育成の国際ネットワーク

中部ESD拠点 (RCE Chubu) は、国連大学が世界179か所に認定しているESD (持続可能な開発のための教育) の地域拠点のひとつ。SDGsを達成するための人材育成や、東海地域 (愛知県・岐阜県・三重県) のローカルSDGs活動を展開しています。
中部圏SDGs広域プラットフォームでは、中部広域圏の情報交換の中で、特に東海地域の情報提供やネットワーク構築に貢献します。

中部ESD拠点 (RCE Chubu) のSDGs活動例:

- 「SDGsフォーラム」の開催

中部SDGs推進センター



「持続可能な社会と持続可能な企業経営」を実現する企業人を育成
出典: <https://chubu-sdgs.com/>

企業のSDGsを支援

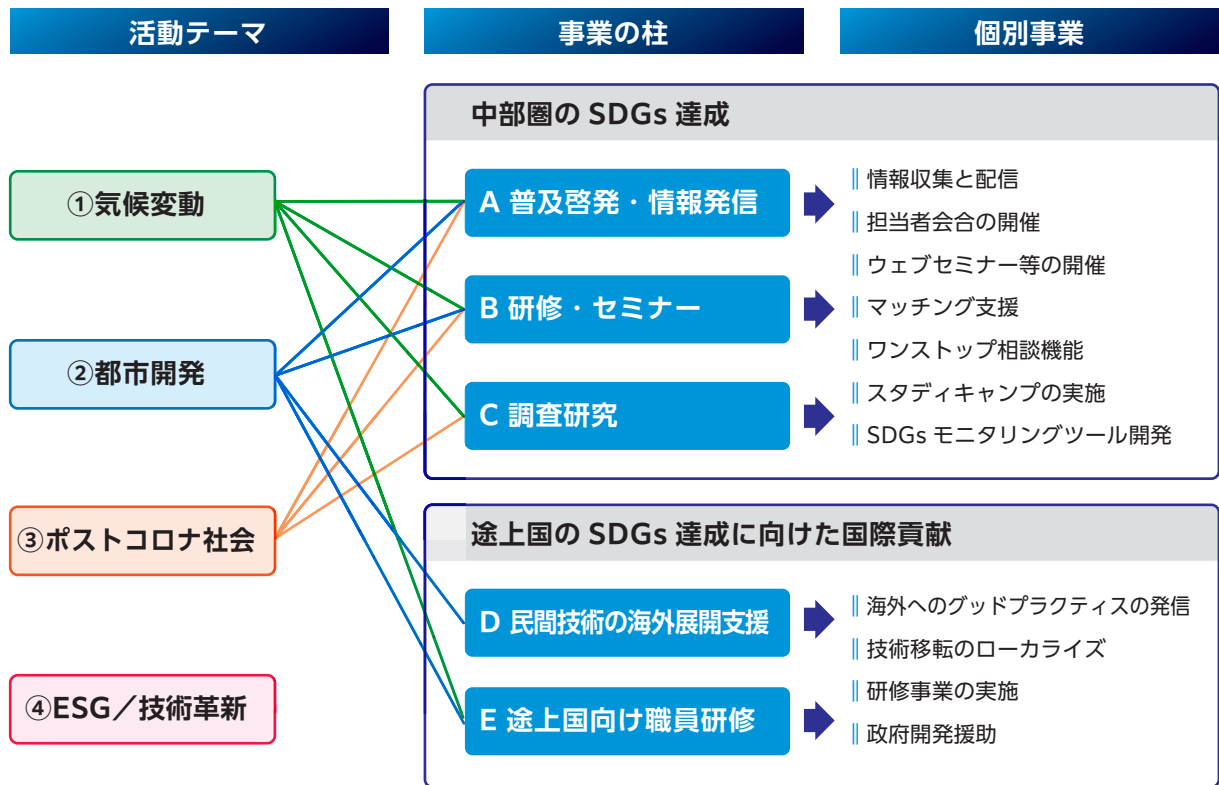
中部SDGs推進センターは、中部圏の企業のSDGs推進を目的として2019年2月に設立しました。
中部圏SDGs広域プラットフォームでは、企業のSDGs普及啓発、SDGsの調査・情報収集と提供、コンサルティング事業などで中部地域のSDGs推進に貢献します。

中部SDGs推進センターのSDGs活動例:

- SDGs経営塾

主要な活動テーマと事業（例）

「気候変動」、「都市開発」、「ポストコロナ社会」、「ESG/ 技術革新」という4つのテーマを中心に、下記の事業を展開します。それぞれの事業は時代の流れや会員のニーズ等により柔軟に対応していきます。



実施事業

情報収集と配信	国連本部等で発信される SDGs に関連する最新情報のうち、重要な政策提言や国際会議での発表機会など、会員に有益な情報を厳選し、日本語で要約して会員限定で随時提供します。
担当者会合の開催	実務担当レベルによる会合を開催し、他の自治体や企業の取組や課題を会員間で共有し、意見交換する場を提供します。
セミナー等の開催 (対面・オンライン)	SDGs に関する世界又は国の動きを捉えたタイムリーなテーマによるセミナーを開催します。
マッチング支援	中部圏の多様なネットワークを活用しながら、異なるステークホルダーを繋げ、各会員の取組が相乗効果を発揮できるよう、個別相談の受け付けなどにより、マッチング機会を作ります。
ワンストップ 相談機能	会員が SDGs 達成に向けた取組を実施していく上で生じる課題等に対して、助言や支援を行います。 例) 会員が実施する研修会やセミナーへの講師紹介や派遣 会員の活動に対するコミットメント（例えば、役員がアドバイザーになる） 会員が主催する事業に対して PF 自体や役員が属する団体が共催や後援

2023 年度実施事業（例）



2023 年度通常総会および公開シンポジウム

2023 年 5 月 23 日・名古屋市

2022 年度の事業報告および決算、2023 年度の事業計画および予算等の議事について議決しました。通常総会終了後には、公開シンポジウム「SDGs 達成の折り返し地点を迎えて ～加速化に向けた中部のアクション～」を開催。外務省による基調講演等が行われました。

2023 年度通常総会後の公開シンポジウム



ローカル SDGs 国際シンポジウム

2023 年 9 月 1 日・名古屋市

国際連合地域開発センター（UNCRD）主催の「スマートシティに関する国際研修ワークショップ」に合わせて開催。日本の自治体や企業のほか、アジア・太平洋地域の政府および自治体から首長・行政官が参加し、地域における SDGs の取組を共有しました。

ローカル SDGs 国際シンポジウム マレーシア・ペナン市の発表



中部圏 SDGs フェスティバル 2023

2023 年 11 月 2 日 - 2024 年 1 月 31 日

中部圏の自治体や企業と協力し、上記期間中、初日に開催された「SDGs フェスティバル in 名古屋丸の内」を皮切りに、中部圏の各地域で SDGs に関するイベント・取組等を実施しました。

中部圏 SDGs フェスティバル協賛イベント「SDGs フェスティバル in 名古屋丸の内」



中部圏 SDGs 広域フォーラム 2023 in 蒲郡

2023 年 11 月 18 日・蒲郡市

自治体と協力し、SDGs の先進的な事例発表や基調講演、パネルディスカッションなどを通じて中部圏の SDGs にかかる取組の方向性を検討するフォーラムを開催しています。2023 年度は、蒲郡市にてサーキュラーエコノミーをテーマに実施しました。

「中部圏 SDGs 広域フォーラム 2023 in 蒲郡」パネルディスカッション



中部圏 SDGs 広域プラットフォーム入会のご案内



会員区分と会費（1年間）

会員区分	団 体	個 人
運営会員	1口3万円 × 口数	1口1万円 × 口数
正会員	1口3万円 × 口数	1口1万円 × 口数
特別会員 (国・地方公共団体など)	無 料	無 料

※運営会員は、中部圏 SDGs 広域プラットフォームの運営や活動の企画・実施をします。

※入会金は不要です。

会員に期待される貢献と得られる成果

- 中部圏で共有する産官学民の強みやさまざまなリソースを生かした会員間の連携により、より効果的な SDGs の取組を計画・実施できます。
- 当プラットフォームの運営団体が有するグローバル（世界）とローカル（地域）、それぞれのネットワークを通じて、世界の情報を入手できるとともに、会員の成功事例を国内外に発信できます。
- パリ協定や 2050 年カーボンニュートラルの達成に向けて、CO2 削減などに関する世界の政策などの情報を提供し、ESG 投資への対応など会員の取組を支援します。

申込み方法

入会のお申込みは、ホームページから入会申込書をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、団体等の概要と SDGs に関する取組が分かる資料を添えて、中部圏 SDGs 広域プラットフォーム事務局まで送付してください。
入会審査後、事務局より入会のご案内を差し上げます。

当プラットフォームへご寄附いただける団体も随時募集しています。
詳しくは、下記事務局までお問い合わせください。



中部圏 SDGs 広域プラットフォーム事務局

メールアドレス：info@chubu-sdgs-platform.jp

ホームページ：<https://chubu-sdgs-platform.jp/>

(2024 年 4 月)